

第 1 回岡崎市都市計画マスタープラン住民説明会（大平地区） 議事要旨

日時	令和元年 10 月 27 日(日)13:00～13:40
場所	大平市民センター 体育集会室
参加者	8 名

1 開会

岡崎市都市計画課 鈴木係長の進行により開会

2 あいさつ

岡崎市都市計画課 新井課長から挨拶

3 岡崎市都市計画マスタープラン（全体構想まで）に関する説明

4 質疑応答

<p>質問者 1</p> <p>岡崎市</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日清紡の跡地の開発による交通渋滞を心配している。特に、岡崎環状線に出ていく所で渋滞がひどくなっている。都市計画ではどうしていくのか。また、乙川近くに 9 年住んでいて 3 年に 1 度洪水が起きている。整備はされるのか。 ・旧日清紡美合工場跡地の住宅開発に関連した渋滞については、開発計画の中で、開発地の中心部に環状交差点を設置する等、開発区域外で渋滞が発生しないような対策が考えられている。都市計画マスタープランでは、資料 P. 6 の道路・公共交通の中で、「広域道路網の整備促進、幹線道路網の強化、身近な道路の整備」と位置づけており、渋滞対策に取り組んでいけるように記載をしている。また、浸水に対する対応としては、日清紡の開発に伴い、河川の断面を確保し、整備をしている。さらに、県の方で乙川付近の改修に対して取り組んでいるところである。遊水地については、乙川の左岸で計画があり、市も早期に事業を実施できるように県の方に要望をしていく。河川の整備については、河川整備計画といった計画に基づいて行っている。
<p>質問者 2</p> <p>岡崎市</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・策定委員会のメンバーを具体的に教えてください。 ・名城大学教授、愛知産業大学准教授、東海学園大学名誉教授、岐阜工業高等専門学校教授、愛知県都市計画課課長、西三河建設事務所企画調整監、岡崎商工会議所女性部会会長、岡崎農業委員会会長等といった方々がメンバーとなっている。
<p>質問者 3</p> <p>岡崎市</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・岡崎の東部でアウトレットが出来た際、交通渋滞の心配がある。その対策についてどういった計画があるのか。 ・大きな商業施設については、大店立地法によって事業者の方で交通量の予測をしなければならないことになっている。その中で、駐車場の台数、どの方向から来るのか、乗り入れ口をどこに持ってくるのかといったことを協議しなけれ

ばならないため、道路管理者や交通管理者とも協議し、周辺に悪影響を及ぼさない形で対策を取っていく。現在、事業者は協議をするために、具体的に交通経路や店舗の規模を検討している段階だと思う。その後、事業者の方で必要な対策を行う。市としては、事業者の計画に対して監視及び指導していく。

質問者 3 ・公共交通機関が整備されていない地域がある。このような地域の交通機関はどのように考えているのか。

岡崎市 ・都市計画マスタープランにおいては、資料 P. 6 の道路・公共交通の中で、公共交通の方針について記載している。また、具体的な計画として、都市計画マスタープランの他に、岡崎市地域公共交通網形成計画あるいは総合交通政策といった交通系のマスタープランがあり、それらに基づき路線バスのあり方や公共交通のあり方といったものを検討していく。どちらも市の計画であるため、内容に矛盾が生じないように調整しながら策定している。

質問者 4 ・矢作川周辺等の浸水が想定される地域に対して、対策を講じることを計画にいていただきたい。

岡崎市 ・河川に対する基本方針を都市計画マスタープランに位置づけようと考えている。具体的には資料 P. 6 の河川・上下水道の項目に「治水・浸水対策の強化」として記載している。岡崎市では総合雨水対策計画を策定し、その中で止水板の補助を岡崎市独自に実施している。また、ハード対策では防ぎきれない災害については、市として防災情報、浸水想定区域・逃げどきマップ等を公表し、避難ができる体制づくりに取り組んでいる。

質問者 5 ・地元の要望を検討するときに費用の補助等、支援するシステムはあるか。

岡崎市 ・自治活動・まちづくり活動に対する支援制度はあったと思う。

5 閉会

以上